

津和野町【島根県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



中国地方

■協議会メンバー…
津和野町／津和野町観光協会／旧堀氏庭園を守り活かす会／日原賑わい創出推進協議会

■構想策定年度…
平成二十三年三月
■補助事業期間…
平成三十一年四月一日～
平成三十二年三月三十一日

歴史文化基本構想の概要

津和野町の文化財を将来にわたって的確に保存・活用していくため、住民の参加と協力による「体制」作りと「調査・活動」を基本方針とし、「城下町の史跡と文化」をはじめとした8つの関連文化財群と、「天領と川が育んだ町並み景観」など10箇所の歴史文化保存活用区域などに設定された保存・活用の方策を実施していく。

観光拠点形成の方向性

- ・町内文化財等の地域資源の魅力向上
- ・旧城下町と旧天領エリアをつなぐ交通体系の充実
- ・回遊性のあるまちづくり

観光に関する課題

- ・誘導、導線の整備
- ・施設の案内機能および駐車場の整備
- ・周遊にかかるイベントの連携
- ・旧天領エリアの魅力発信

事業概要

案内板の整備

道筋がわかりづらいという観光客からの課題を受けて、来訪客を増やすために、城下町から名勝旧堀氏庭園（旧天領地区拠点）までの間に3箇所誘導サインを設置した。設置箇所は、地元住民と協力して地域を調査し決定した。

KPI 旧堀氏庭園の入園者数の増：
8,054人(H28)→14,000人(H31)

情報
発信



天領地区観光ガイド養成事業

旧天領地区を観光周遊するためのガイドの人材育成を目的として、当該地区の歴史について学習会を実施した。今年度は受講者側の要望により歴史的建造物のガイド方法に重点を置き、学識経験者からポイントを学んだ。

KPI 文化観光ガイドの登録者数：2人(H29)→12人(R1)

人材
育成



旧天領体験イベント実施と観光実態調査事業

旧城下町と天領2地区とを繋ぐ魅力的なプランを提供して観光客を増やすため、連携したまち歩きイベントを開催し旅行商品開発の検討を行った。併せて観光客を対象とし、観光志向や交通手段の実態調査を実施した。

KPI 体験プラン、ツアーの数：0回(H28)→12回(R1)

普及
啓発



旧天領畑迫地区観光案内所拠点整備事業

既存施設の有効活用と観光客の増大を目的とし、名勝旧堀氏庭園の受付棟を観光拠点または地元団体の活動拠点として整備した。また、利用者の利便性を高めるため庭園施設内の未舗装駐車場を舗装するなど整備を行った。

KPI 旧堀氏庭園の入館料等の収入：
4,400,000円(H28)→5,280,000円(R1)

活用
整備



成果

① 観光客の増加

情報発信・活用整備事業により、観光拠点施設周辺を整備したことで利用者の利便性が向上し、観光客が増加。結果、施設来館者前年比138%増となった。

② ガイド力の底上げ

観光ガイド向け学習会を2年間継続で実施し、ガイドの知識が向上。地域に関係なく幅広くガイドが集まり、結果的に町全体の観光ガイドの底上げに繋がった。